

だい しょう 第3章 まちのうつかり 移り変わり

【かわってきたきこないの木古内のまち】



1950年ごろ 本町駅前通り



1956年ディーゼル列車の開通祝い



1988年 津軽海峡線開通記念パレード



2025年 木古内駅前

きこないちょう まちの 昔から 今への 移り変わりについて かんがえます。

さいしょに、きこないえき ちか ふうけい を うつした 古い 写真 を ゆっくり み て ください。その後、それを見て 感じたこと や 気づいたこと を おたがいに 話し合 ってみましょう。

つかむ

えきまえ まわ 駅前の周りは、どのように かわって きたのでしょうか。



まちのようす について、何 が、いつ、どのように、 かわって きたのか、 調べて みましょう。

第3章 まちの移り変わり

さんこう
参考
しりょう
資料



1875年 泉沢郵便局開局



1918年頃 釜谷小学校



1950年 木古内保育園



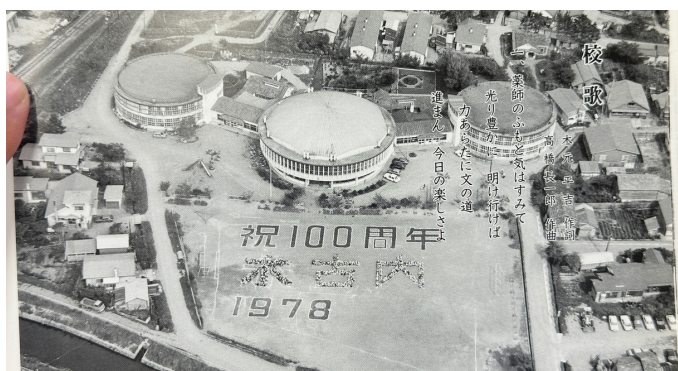
1950年 木古内消防本部



1967年 給食センター



1972年 札幌五輪 聖火リレー



1978年 木古内小学校 祝100周年



1988年 青函トンネル開通

第3章 まちの移り変わり

【木古内の移り変わり】



写真提供：函館中央図書館（許可を受けて一部加工）

明治初期 箱館戦争 「木古内（口）の戦い」の図

1868（明治元）年に、「箱館戦争」という日本人同士の戦争が起きました。箱館戦争の中では、1869（明治2）年に木古内で多くの戦死者を出した「木古内の戦い」がありました。



昔、木古内で、大砲などを使った戦争が実際にあったなんて信じられないことです。

戦いが終わって、ずっと後に、本州からやって来た人たちが、土地を開拓し、今の木古内の農業のもとをつくりました。



本州から来た人たちが、田畑の開拓を始めたのです。開拓がうまくいったため、今の木古内は、お米や野菜を育てる農業が盛んなのです。



木古内町は酪農や肉牛を育てることで有名です。